

平成29年度(2017年度)

管理事業名	地域交流施設事業			総合計画の体系	第2章 第1節	市民自治が育む自立のまちづくり 多様なコミュニティ活動の充実による住みよいまちづくり	
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 18	地域振興費
部局名	市民部	予算執行所属	市民自治推進室				
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名						
地区集会所事業 竹見台多目的施設事業							
<b>事業の目的と概要</b> 地域住民の集会所等の用に供し、コミュニティ活動の充実を図る施設として、幼稚園園舎施設を利用して、西山田、岸二、北山田、吹田東の各地区集会所、吹田市立南竹見台小学校廃校施設を利用して竹見台多目的施設を暫定的に開設しており、竹見台多目的施設の交流室においては、近接する竹見台市民ホールの狭隘解消を図るため、地元利用を優先しています。また、地区集会所は地域住民で組織された地区集会所運営委員会に管理運営を委託しており、竹見台多目的施設は地域の市民団体の代表等で組織される運営委員会に管理運営を委託しています。 なお、吹田東及び西山田地区集会所については、新たな行政目的を持った施設である防災用備蓄倉庫として活用されることから、平成29年度末をもって廃止となりました。							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
施設利用者数	人	96,441	94,150	85,889	地区集会所及び竹見台多目的施設の貸出施設の利用者数
施設利用率	%	29.3	27.5	26.0	貸出施設の利用率
成果の説明	平成29年度末をもって吹田東及び西山田地区集会所を閉鎖するにあたり、一部利用を制限していたことにより、施設利用者数が減少し、施設稼働率が低下しました。 成果の目標としては、施設利用者数及び利用率のいずれも、前年度実績を上回ることを目標としています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	11	331	5	△325
経常収入 小計(a)	11	331	5	△325
給与関係費	20,305	8,536	10,723	2,187
物件費	25,026	25,409	42,971	17,562
維持補修費	1,296	8,463	1,327	△7,136
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	28	28	12	△16
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	851	433	627	194
退職手当引当金繰入額	1,858	△10,225	1,317	11,542
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	49,364	32,643	56,975	24,333
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△49,353	△32,312	△56,970	△24,658
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△49,353	△32,312	△56,970	△24,658
一般財源充当額	49,617	43,730	56,015	12,285
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	263	11,418	△955	△12,373

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	職員人件費2,187千円の増
物件費	竹見台多目的施設PCB廃棄物処理に係る委託料17,562千円の増
維持補修費	西山田地区集会所、吹田東地区集会所、竹見台多目的施設の補修工事に係る7,136千円の減

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	11	11	5	△5
行政サービス活動支出	49,628	43,740	56,020	12,280
行政サービス活動収支差額	△49,617	△43,730	△56,015	△12,285
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△49,617	△43,730	△56,015	△12,285
一般財源充当額	49,617	43,730	56,015	12,285
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	特徴的な事項
行政サービス活動収入	非常勤職員の雇用保険料5千円の減

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
開所日1日あたりのコスト	平成27年度	1,447 日	34,115 円	各地区集会所及び竹見台多目的施設で1日あたり40,039円のコストがかかっています。前年度より17,276円増額した主な理由は、竹見台多目的施設PCB廃棄物処理業務委託等により経常費用が増加したためです。
	平成28年度	1,434 日	22,763 円	
	平成29年度	1,423 日	40,039 円	
利用者1人あたりのコスト	平成27年度	96,441 人	512 円	各地区集会所及び竹見台多目的施設利用者1人あたり663円のコストがかかっています。前年度より316円増額した主な理由は、吹田東及び西山田地区集会所の閉鎖に向け、一部利用が制限されたことにより、利用人数が減少したためです。
	平成28年度	94,150 人	347 円	
	平成29年度	85,889 人	663 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	433	627	194
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	433	627	194
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	固定負債	4,834	5,595	761
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	4,834	5,595	761
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	320	320	-	その他固定負債	-	-	-
固定資産	-	-	-	負債の部合計	5,267	6,222	955
有形固定資産	-	-	-	純資産	△4,947	△5,902	△955
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	320	320	-	負債及び純資産の部合計	320	320	-

Ⅲ 財務構造分析

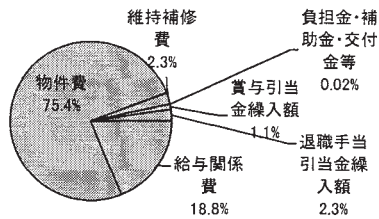
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	人	月平均	年間従事延日数	実人数	
	0.83	人	0.42	136	人	12,666
給与関係費等	8,551	千円	1,239	千円	千円	
内、時間外勤務手当	853	千円				

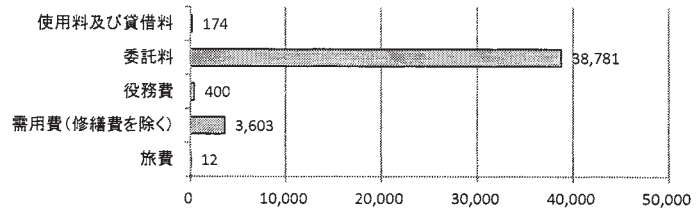
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	西山田地区集会所ほか4館
取得年月日	平成5年(1993年)7月(西山田地区集会所)ほか
建物・工作物の取得価額	- 千円
建物・工作物の減価償却累計額	- 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率		-	-	-	-
施設老朽化比率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		100.0	100.0	100.0	0.0
経常費用対公共資産比率		-	-	-	-

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用につきましては、コストの75.4%を物件費が占めており、そのうち約90%が集会所等の施設運営に係る委託料となっています。前年度からの物件費の増加は、主に竹見台多目的施設PCB廃棄物処理業務委託料によるものです。  
地区集会所は、普通財産等となっている公立幼稚園廃園施設などを利用しているため、通常、当該事業の貸借対照表に計上する施設に係る建物・工作物の取得価格、また、それに伴う減価償却費などは、この「地域交流施設事業」には計上せず、普通財産等を管理する「財産管理事業」の貸借対照表に計上しています。廃園、廃校施設を使用しているため、施設の老朽化は著しく進行しています。利用者の安全確保のための維持補修を行う必要があるため本事業で建物の修繕を行っています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

各地区集会所は、公立幼稚園廃園施設、竹見台多目的施設は、吹田市立南竹見台小学校廃校施設を利用して暫定的に地域住民の用に供していますが、施設の老朽化は進行しており、公共施設最適化委員会でも危険度が高い施設とされています。暫定施設の集会所は、関係所管課と調整をしながら、今後の在り方について検討を進めていく必要があります。